

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。変形や仕上げ材の剥離、火災の原因となる場合がありますので、火気や暖房器具を近づけたり、車の排気ガス等の高熱が直接あたらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物をのせたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、開口部を設けた場合は、開口部に重いものをのせたり、足をかけたり、ぶら下がったりなどしないでください。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。思わぬ事故につながり、ケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下での使用は避けてください。
- 洗浄機での洗浄をおこなう場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してからおこなってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 破損や故障の原因となりますので、本体に落雪や重機による除雪などの強い衝撃を与えないでください。

ご使用上のご注意

- 現場塗装タイプ、片面工場塗装タイプの塗装面は、年に2～3回の水洗いをしてください。その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で、水洗いしてください。
- 現場塗装タイプの場合、降雨等で塗面が水分を含むと色ムラが生じることがありますが、乾燥すれば元に戻ります。

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品は、パネル等に硬質ポリスチレンフォーム材を使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は、生地の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材は80℃以上になると変形します。高温の物や火気が無い場所に保管してください。
- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 当社汎用プライマーは、水性です。凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
-  **注意** ●正しく施工・組付していただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工につきましては、必ず取付説明書にしたがってください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 塗装・接着の際、表面に付着しているごみ・土砂・油分等は除去してください。
- 特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームの生地の部分が長時間太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがありますので、必ず仕上げ材の施工をしてください。
- ヒートガン等の熱を発する工具を用いないでください。PSパネルの変形や仕上げ材の剥離等の原因になります。

【PSパネル仕上仕様について】

- 1型、2型の規格PSパネル部材は、両面生地の状態で出荷されます。片面に仕上げをできない現場用に、片面塗装済パネル（特注）があります。
- 組立前に現場でPSパネルごとに塗装しないでください。組付け不良の原因になります。片面に仕上げできない現場では、片面塗装済みパネル（特注）を使用してください。
- ユニット門袖S-1型は、塗装済仕様のみになります。
- ユニット角門柱は、生地仕様のみになります。
- タイル等の貼り材や現場塗装タイプの仕上げ塗材については、各メーカーの使用上の注意事項も確認してご使用ください。

施工上のご注意

⚠ 注意 【接着剤について】

●接着剤は当社規格品または、当社指定品を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の接着剤を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。

■硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合

[当社規格品] オプション接着剤セット、貼り物用接着剤セット※

[当社指定品] (変成シリコン系接着剤) コニシ社 MPX-1 / セメダイン社 タイルエースPro

■硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合

[当社規格品] 貼り物用接着剤セット※

[当社指定品] セメダイン社 タイルエースPro / ニッタイ工業社 EY-21

※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。

※貼り物用接着剤セットは、タイルの貼付けやアクセントパネルの広範囲貼付けにご使用ください。

※ガンタイプ・チューブタイプの接着剤は、小さい部材の貼付けにご使用ください。

●石材、タイル等の固定は接着剤による貼付けのみになります。金物との併用やモルタルによる貼付けはできません。

●石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布は避けてください。

●接着剤は必ず生地の状態に貼付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼付けしないでください。

●接着方法は接着剤の施工説明書等に記載された内容に準じておこなってください。

【コーキング材について】

●コーキング材は、必ず当社規格品または変成シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。

[当社規格品] コーキング材セット (ライトグレー)

【汎用プライマーについて】

●現場で塗装仕上をする場合は、必ず当社規格品の汎用プライマーを施工してください。

●汎用プライマーは気温5℃以下及び、下地0℃以下での施工を避けてください。

●汎用プライマーは、塗布した状態で長時間直接太陽光のもとに放置されると紫外線により劣化するおそれがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。

●汎用プライマー無で仕上げ塗材を施工したり、当社規格の汎用プライマー以外を使用しないでください。剥離の原因になります。

●汎用プライマーには特殊骨材が入っています。塗布前によく攪拌し、ローラーで塗布する場合にもその都度よく攪拌してください。攪拌不足で塗布すると塗ムラの原因になります。

擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領であ厚みを持たせて均一に塗布してください。薄すぎたりダマにならないようにしてください。

【下地調整材について】

●下地調整材は当社指定品または、軽量セメントモルタル (JIS A 6918) を用いてください。

[当社指定品] 四国化成建材社 SKカチオンプラスター弾性タイプ

●既調合軽量セメントモルタルを用いる場合は、塗厚5～10mm程度で仕上げ、仕上げ塗材施工前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。

●下地調整材は当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから施工してください。

●下地調整材は平滑に仕上げてください。

●施工方法は下地調整材の施工要領書等に記載された内容に準じて行ってください。

【仕上げ塗材について】

●仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。シンナー等を含む溶剤型の仕上げ塗材を使用すると硬質ポリスチレンフォーム材が溶解するおそれがあります。

[水性塗材] 四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG /

アイカ工業社 ジョリパットアルファ (JP-100)

※上記の当社指定品「下地調整材」「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。

必ず上記をお使いください。

※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足 (2mm以下) によって下地の影響 (下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等) を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。

※下地調整材についてもしっかり膜厚 (カチオン2mm、軽量モルタル5～10mm) を確保し、平滑に仕上げるようにしてください。

●仕上げ塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり、蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。

●部材間に隙間や段差が生じる場合があります。現場塗装仕上の場合、下地調整材またはコーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。

【免責事項】

下記の場合の不具合については、免責とさせていただきます。

●当社指定品以外のご使用・当社指定仕上げパターン以外の施工がなされた場合

●当社ならび材料メーカーの指定する標準施工法から逸脱した施工がなされた場合

●その他、施工上の瑕疵、塗材の自然劣化、天災、事故等、当社の責に帰さない事由による場合

●塗材・下地調整材を塗装して得られる塗膜は、塗装業者様の製品となるため、塗装業者様が仕上がり責任を負います。

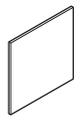
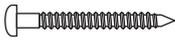
INDEX

INDEX	1
梱包明細表	1・2
サイズ及び仕様	2
1.施工前の確認	3
2.アクセントパネルの加工及び貼付け	3~5
1.アクセントパネルの加工例	3
2.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定(片面・両面に1枚重ねて貼り付ける場合)	3・4
3.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定(片面・両面に複数枚重ねて貼り付ける場合)	5
4.アクセントパネルの貼付け(複数枚連続して貼り付ける場合)	5
3.現場塗装仕上げ手順(現場塗装タイプ)	6~9
1.コーキング材の充填(縦目地)	6
2.目地テープの貼付け	6
3.汎用プライマーの塗布	6・7
4.下地調整材・グラスファイバーネットの施工	7・8
5.仕上げ塗材の施工	8・9
4.現場貼り仕上げ手順(現場貼りタイプ)	9
1.タイル・石材・外壁用シート材等の貼付け方法	9
5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工	10・11
1.アクセントパネル貼付け前の注意事項	10
2.アクセントパネルの加工(参考例)	10
3.カット後のアクセントパネルの貼付け方法	11

梱包明細表

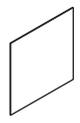
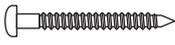
■アクセントパネル(+30)(1枚入り) 生地 ■アクセントパネル(+30)(2枚入り) 生地

■アクセントパネル(+30)(3枚入り) 生地

部材名	略図	員数		
		1枚入り	2枚入り	3枚入り
アクセントパネル(+30)生地	 950×950×30	1	2	3
φ4.1×38ナベ木ネジ		20	40	60
取付説明書		1	1	1

■アクセントパネル(+10)(1枚入り) 生地 ■アクセントパネル(+10)(2枚入り) 生地

■アクセントパネル(+10)(3枚入り) 生地

部材名	略図	員数		
		1枚入り	2枚入り	3枚入り
アクセントパネル(+10)生地	 950×950×10	1	2	3
φ4.1×38ナベ木ネジ		20	40	60
取扱・取付説明書		1	1	1

■目地テープセット

部材名	略図	員数
目地テープ(巾100)	 100mm×50m	1

■コーキング材セット(ライトグレー)

部材名	略図	員数
コーキング材(ノンブリードタイプ)	 333ml	1

梱包明細表

■接着剤セット

部材名	略図	員数
接着剤	 120ml	1

■貼り物用接着剤セット

部材名	略図	員数
貼り物用接着剤	 2kg	1

■汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

部材名	略図	員数
汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

■汎用プライマーセット(1.5Kg)

部材名	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

■汎用プライマーセット(15Kg)

部材名	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1

■汎用プライマー用ローラー刷毛(1本入り)

部材名	略図	員数
汎用プライマー用ローラー刷毛(6インチ)		1

■SKカチオンプラスター弾性タイプ

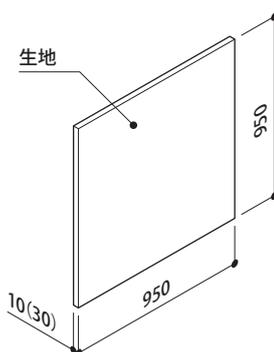
※ハンドルは付属しません

部材名	略図	員数
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20Kg)	 20Kg	1

■グラスファイバーネット

部材名	略図	員数
グラスファイバーネット(1000mm×50m)		1
グラスファイバーネット(1000mm×10m)		1

サイズ及び仕様



- ※必要サイズにカットして本体に貼り付けてください。(P.3・5・10参照)
- ※工場カット加工の都合上、カット面の模様や施工に影響しない範囲の寸法誤差があります。

1. 施工前の確認

施工前にスマート・Fウォール/端部柱セット同梱の取扱説明書・取付説明書を参照ください。

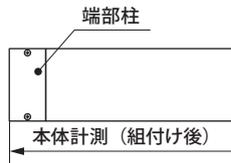
2. アクセントパネルの加工及び貼付け

1. アクセントパネルの加工例

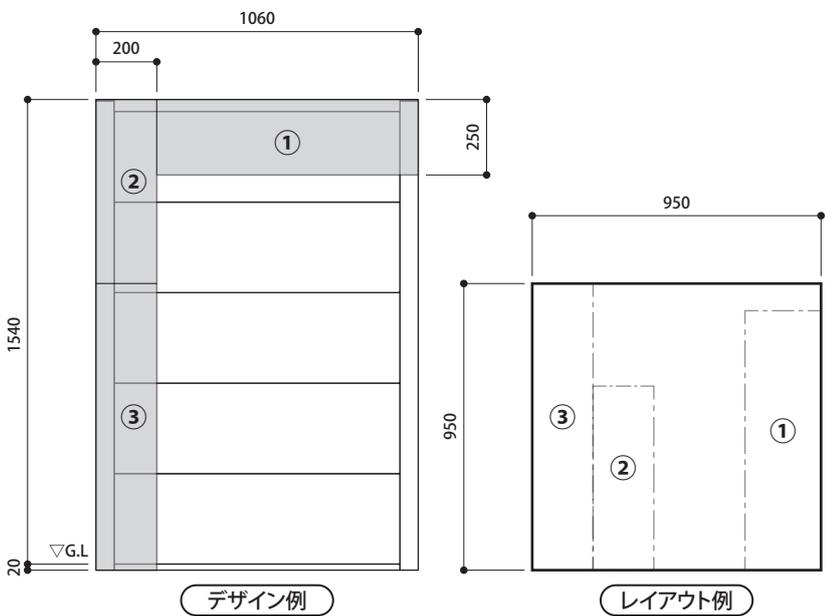
① デザインに合わせてアクセントパネルにレイアウトし、下記方法にてカットしてください。(下図レイアウト例参照)

ご注意

- 必ず、本体組み付け終了後、本体寸法を実測し本体に合わせてアクセントパネルの加工・貼り付けを行ってください。寸法が異なると段差の原因となります。

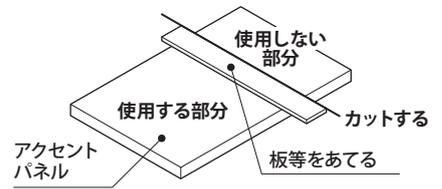


部材名	梱包名称
アクセントパネル(+30)生地	アクセントパネル(+30)(1枚入り)生地
	アクセントパネル(+30)(2枚入り)生地
	アクセントパネル(+30)(3枚入り)生地
アクセントパネル(+10)生地	アクセントパネル(+10)(1枚入り)生地
	アクセントパネル(+10)(2枚入り)生地
	アクセントパネル(+10)(3枚入り)生地

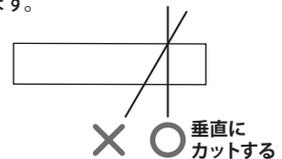


●パネルのカット方法

1. デザインに合わせて寸法を出し、罫書き線を引き、板等をあてて丸のこ等でカットしてください。



2. 真っ直ぐ垂直にカットしてください。本体パネルとの接合において、隙間ができたりしてうまく接着できない場合があります。



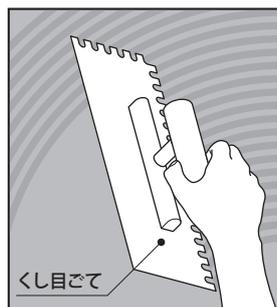
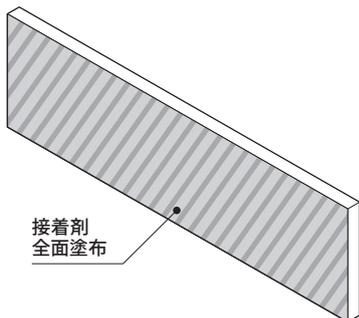
アクセントパネルは、本体に片面・両面及び、重ね貼り (P.5参照) 可能です。

2. アクセントパネルの貼付け及びネジ固定 (片面・両面に1枚重ねて貼り付ける場合)

① スマート・Fウォール本体にアクセントパネルを貼り付ける場合、下記を参照してスマート・Fウォール本体、またはアクセントパネルに接着剤を全面塗布して貼りください。接着剤は当社規格品「貼り物用接着剤」または当社指定品を使用し、下地によくなじませるように塗りつけた後、くし目でてを用いてしっかりくし目を立ててください。貼り物を所定の時間内に貼り付けてください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット

- 当社規格品：貼り物用接着剤
- 当社指定品：セメデザイン社 タイルエースPro



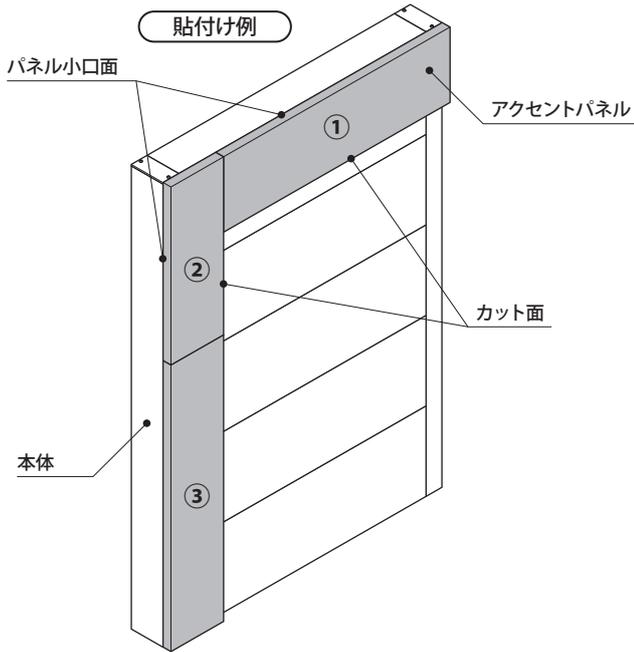
- 接着剤の塗布
くし目でてでくし目を立ててください。

ご注意

- 接着剤が硬化する前に、アクセントパネルを貼り付けてください。(接着剤の硬化時間は接着剤の説明書を参照してください。)
- 接着剤がはみ出さないようにしてください。はみ出した場合はふき取ってください。
- アクセントパネルの貼り付け時は十分に圧着し、アクセントパネルの全体が均一に接着されるようにしてください。
- 接着剤は、表面に付着しているゴミ・土砂・油分等を除去してから塗布してください。

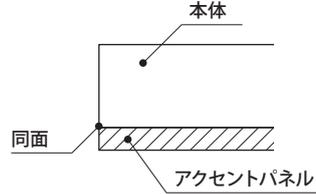
2.アクセントパネルの加工及び貼付け

②下記貼付け例を参照し、接着剤を塗布したアクセントパネルを順次本体に貼り付けてください。



ご注意

- パネル小口面は本体とアクセントパネルが同面になるように、位置合わせを必ず行ってください。(ずれると段差の原因となります。)



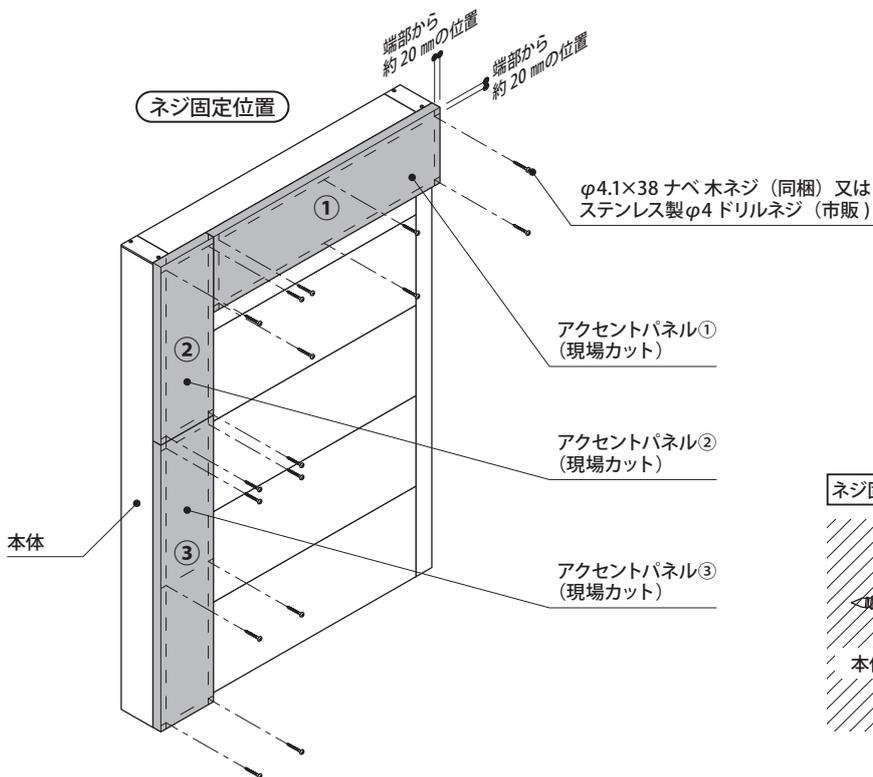
- ※アクセントパネルは隙間や段差がないように貼り付けてください。

③ネジ固定

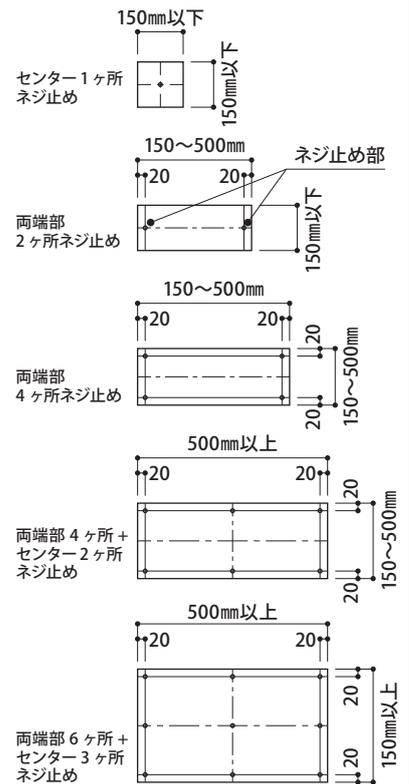
- アクセントパネル貼り付け後、接着剤が硬化する前に右図を参照し、同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ（又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ）で本体に固定してください。
- ネジ頭がアクセントパネルから出ないようにねじ込み、コーキング材（変成シリコン系ノンブリードタイプ）でパテ埋めしてください。（下記参照）
- 本体とパネルが密着せず隙間がある場合、ネジを追加してください。ネジとネジの間隔は、右図の取付け寸法以上にならないようにしてください。

ご注意

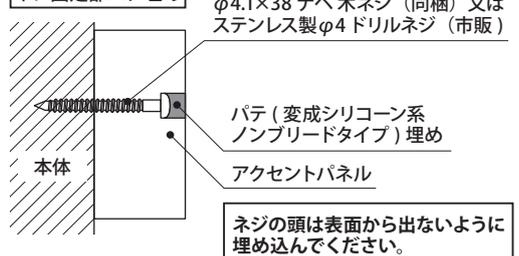
ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。



パネルサイズ別ネジ止めヶ所数



ネジ固定部パテ埋め

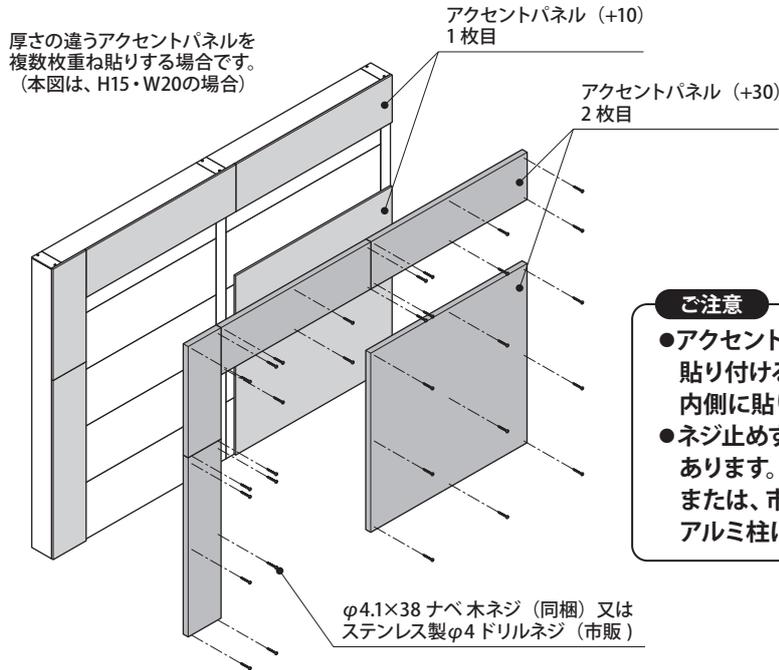


④両面貼付けの場合は、同じように反対側に貼り付けてください。

2.アクセントパネルの加工及び貼付け

3.アクセントパネルの貼付け及びネジ固定 (片面・両面に複数枚重ねて貼り付ける場合)

- ① 貼り付けた1枚目のアクセントパネル (+10) の上から同様に、加工した2枚目のアクセントパネル (+30) に接着剤を塗布し、同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください。(片面に複数枚貼り付ける場合)
 ※1枚目のアクセントパネル (+10) と同様に、上面・側面は段差ができないよう面をそろえてください。
 ※両面に貼り付ける場合は、同じように反対側に貼り付けてください。



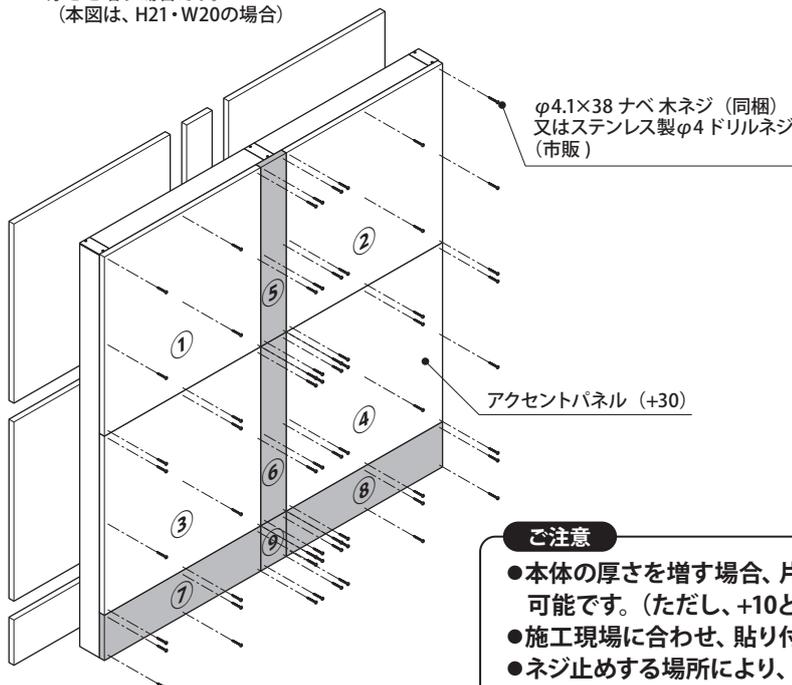
ご注意

- アクセントパネル (+10) とアクセントパネル (+30) を貼り付ける場合、10mm厚のアクセントパネル (+10) を内側に貼り付けてください。
- ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。

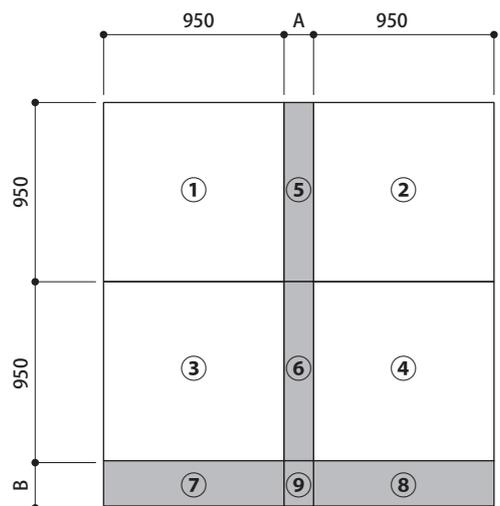
4.アクセントパネルの貼付け (複数枚連続して貼り付ける場合)

- ① 複数枚連続して貼り付ける場合、下記順番にて貼り付けてください。
- (1) 両端部上面の①②を先に本体側面、及び上面を合わせて同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください。
 - (2) 同様に③④を側面に合わせて同梱のφ4.1×38ナベ木ネジ (又は、市販のステンレス製φ4ドリルネジ) で固定してください
 - (3) 寸法Aを実測し寸法に合わせてカットし、上面を合わせて⑤を貼り付け、同様に⑥も貼り付けてください。
 - (4) 寸法Bを実測し寸法に合わせてカットし、側面を合わせて⑦⑧を貼り付け、⑨を寸法に合わせてカットし貼り付けてください。

両面にアクセントパネルを連続して貼り付け、厚さを増す場合です。
 (本図は、H21・W20の場合)



アクセントパネル配置例 (H21・W20の場合)



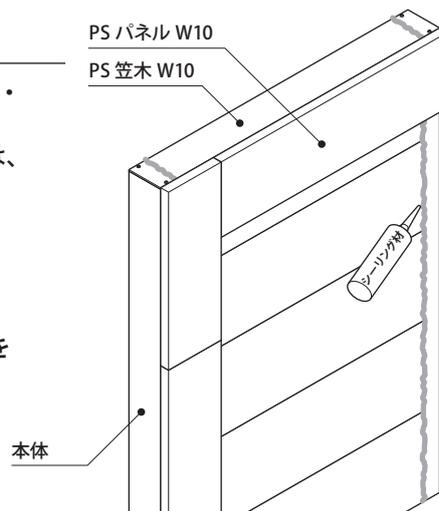
ご注意

- 本体の厚さを増す場合、片面貼付け・両面貼付けどちらでも貼り付け可能です。(ただし、+10と+30で片側の合計厚み最大40mmまでです。)
- 施工現場に合わせ、貼り付け方を選んでください。
- ネジ止めする場所により、アルミ柱と干渉する場合があります。アルミ柱を避けた位置にネジ止めしてください。または、市販のステンレス製φ4ドリルネジを購入し、アルミ柱にφ3.5の下孔をあけてネジ止めしてください。

3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

1.コーキング材の充填（縦目地）

- ①アクセントパネルを貼り付けた部分以外で、塗装仕上部分の柱とPSパネルW10・PS笠木W10の接合部の隙間（縦目地）に、コーキング材を充填してください。充填後、表面はヘラでならして平滑にしてください。現場貼り仕上がある場合は、その部分のコーキング処理は不要です。
- ※横目地とアクセントパネルの接合部に1mm以上の隙間がある場合、その個所に同様に充填してください。
 - ※アクセントパネルの接合部に段差がある場合、コーキング材を充填し表面をヘラでならして平滑にしてください。
 - ※コーキング材は必ず、当社規格品または変性シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
 - ※当社規格コーキング材は施工後、春・夏季・秋季は1日後、冬季は4日後から、いずれも7日以内を目安として次工程を施工してください。

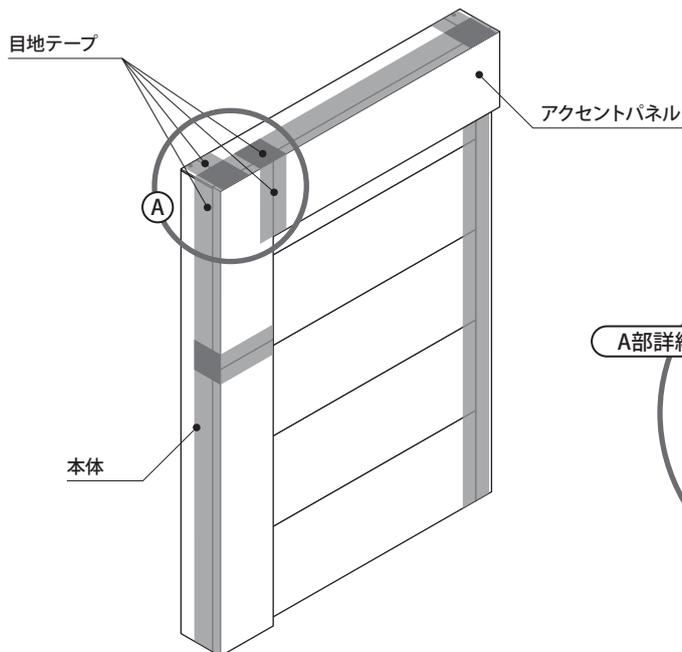


部材名	梱包名称
コーキング材セット	コーキング材（ノンブリードタイプ）

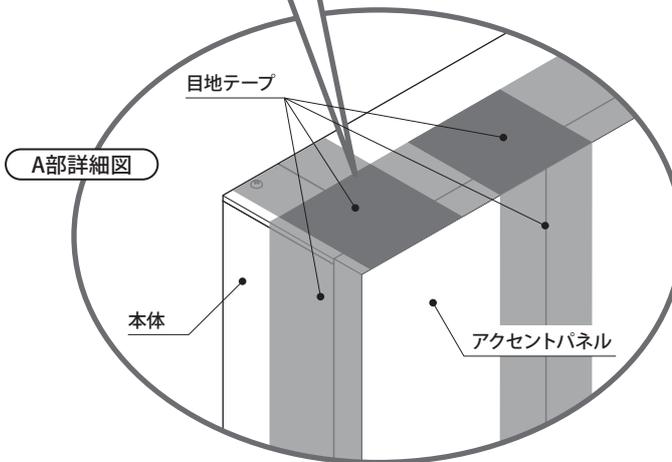
2.目地テープの貼付け

- ①本体の接合部と一緒に、アクセントパネルの接合部にも目地テープを貼り付けてください。
- 目地テープの貼り付け後は、速やか当社規格の汎用プライマーの塗布を施してください。目地テープが剥がれてくる場合があります。

部材名	梱包名称
目地テープ（巾100）	目地テープセット



図のように目地テープを重ねて貼ってください。

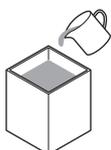


3.汎用プライマーの塗布

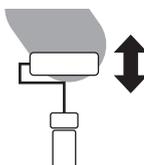
- 塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- ※汎用プライマー無で仕上塗装したり、当社以外のプライマーを使用すると剥離の原因になります。
- ※汎用プライマーは成分の骨材が沈殿しますので、よく攪拌してください。
- 目地テープが浮かないように注意してください。
- 十分に乾燥してから次の工程に移ってください。

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。清水もしくは水道水で0～3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。

1.5kgの場合は清水0～45cc
15kgの場合は清水0～0.4ℓ



汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



部材名	梱包名称
汎用プライマー（100ml） 刷毛	汎用プライマー（100ml）・刷毛セット
汎用プライマー（1.5Kg）	汎用プライマーセット（1.5Kg）
汎用プライマー（15Kg）	汎用プライマーセット（15Kg）
汎用プライマー用 ローラー刷毛（6インチ）	汎用プライマー用ローラー刷毛（1本入り）

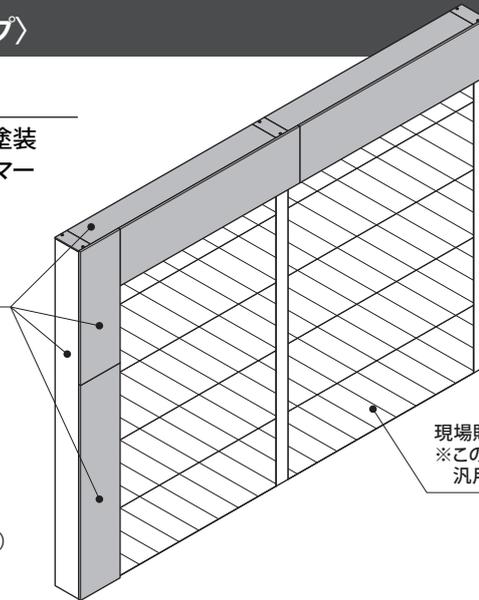
- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2～0.3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー1.5kgで約2～3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20～30㎡塗布できます。塗装する面積に応じて汎用プライマーセット（100ml・1.5kg・15kg）から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

部分的に塗装仕上をする場合

現場貼りタイプで部分的に塗装仕上をする場合は、塗装する部分にコーキング・目地テープ・当社汎用プライマーの施工をしてください。(P.6参照)

現場で塗装仕上をする部分
(汎用プライマーを塗布してください。)



現場貼りタイプ部分(生地)
※この部分には、目地テープ貼付けと汎用プライマーの塗布は行いません。

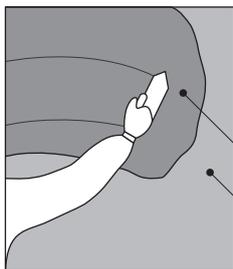
(本図は、H15・W20の場合)

4.下地調整材・グラスファイバーネットの施工

- 当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから塗装仕上をする全面に下地調整材・グラスファイバーネットを施工してください。
- 下地調整材は当社指定品または、軽量セメントモルタル (JIS A 6918) を用いてください。

■基本の施工(当社指定品SKカチオンプラスター弾性タイプの場合)

- ①当社汎用プライマーを塗装後、完全に乾燥してから、SKカチオンプラスター弾性タイプを薄くコテ塗りしてください。



SKカチオンプラスター弾性タイプ
汎用プライマー

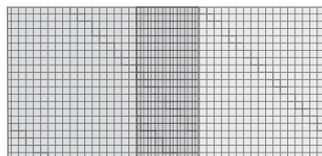
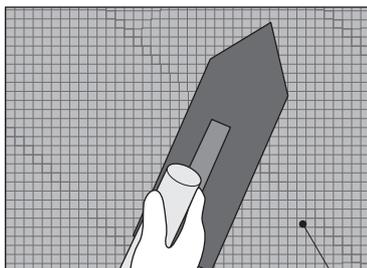
部材名	梱包名称
SKカチオンプラスター弾性タイプ(20Kg)	SKカチオンプラスター弾性タイプ
グラスファイバーネット(1000mm×50m)	グラスファイバーネット
グラスファイバーネット(1000mm×10m)	

下地調整材 [当社指定品]

四国化成建材社
SKカチオンプラスター弾性タイプ
●養生期間: 1~2 日程度
●標準塗厚: 2mm※
●使用量: 10㎡/袋※

※グラスファイバーネット伏せこみ時の目安塗厚・使用量です。

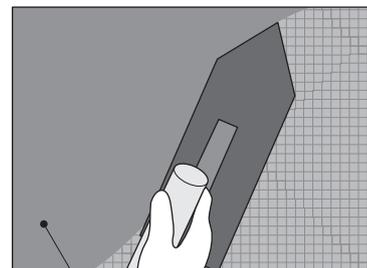
- ②直後にグラスファイバーネットを壁面に軽く圧着してください。ネットの重ね代は50mm以上とって下さい。



50 mm以上

グラスファイバーネット

- ③SKカチオンプラスター弾性タイプを上から塗りこみ、合計塗厚1~2mmで仕上げてください。



SKカチオンプラスター弾性タイプ

※SKカチオンプラスター弾性タイプは乾くのが早いため、大きな面積を一度で施工することは困難です。事前に一回で張れる大きさにグラスファイバーネットを切断しておき、ネットを張る面積分ごとにカチオンプラスターを塗りながら施工してください。

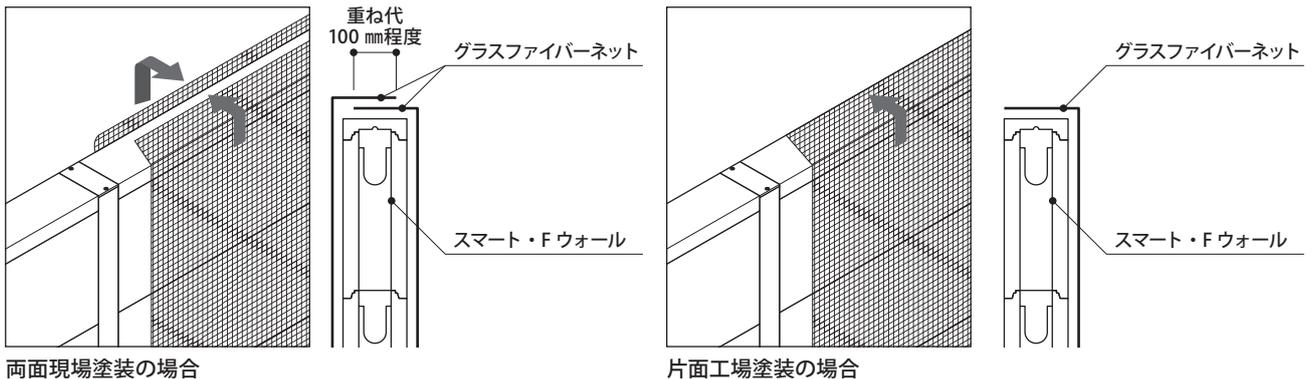
3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

■軽量セメントモルタルの場合

- 塗厚5～10mm程度で仕上げてください。
- モルタル接着増強剤を混入工法で使用し、各メーカー指定の量にて混入してください。
- 予定塗厚程度のモルタルを下塗りした後、グラスファイバーネットを壁面に圧着し、最後に上塗りのモルタルを薄く塗りこみ表面を仕上げてください。（グラスファイバーネットがモルタル表層側に伏せこまれるようにしてください。）
- 当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーのシーラー・吸水調整材を塗布することは避けてください。
- そのほか基本的な手順等は、上記（SKカチオンプラスター弾性タイプの場合）と同様です。

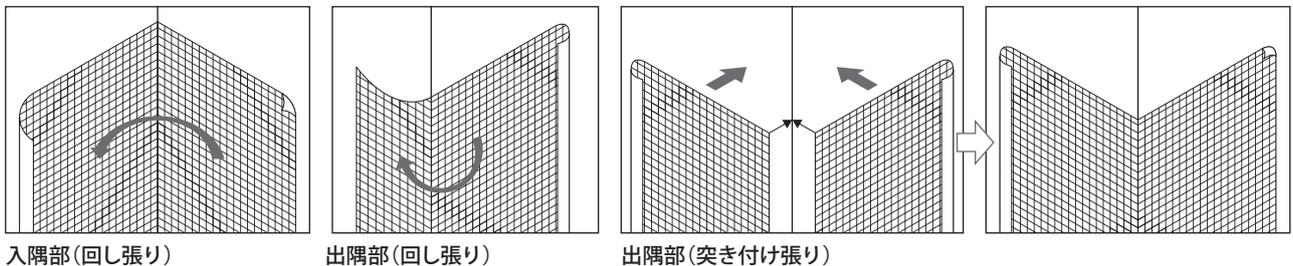
■天端の施工

- 天端は下図のようにグラスファイバーネットを回し張りしてください。
- 両面現場塗装の場合、天端の重ね代は100mm程度とってください。
- 片面工場塗装の場合、グラスファイバーネットは塗装面の端まで張ってください。



■角部の施工

- 入隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。
- 出隅部のグラスファイバーネットは回し張りしてください。難しい場合は突き付け張りをしてください。突き付け張りの場合、コーナー部のネット同士を十分に近づけ、突き合わせてください。
- 回し張りの継ぎ目の重ね代は50mm以上とってください。（上記参照）



- ※下地調整材は、ママコ等残らぬよう、しっかりと練り上げてください。練り上げが足りない場合、本来の性能を発揮できないことがあります。
- ※下地調整材の上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。
- ※上記「下地調整材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。
- ※下地調整材は膜厚（カチオン2mm、軽量モルタル5～10mm）を確保し、平滑に仕上げてください。

5.仕上げ塗材の施工

- 仕上げ塗材を施工してください。
仕上げ塗材は下記の水性塗材を使用してください。
[水性塗材]四国化成建材社 パレットHG・パレットクリームHG/
アイカ工業社 ジョリパットアルファ (JP-100)
- 下地調整材に軽量セメントモルタルを用いる場合、仕上げ塗材の前に各塗材メーカー指定のシーラー処理をしてください。
- 塗材が濃色の場合は季節を問わず、直射日光が当たると塗材表面が高温になり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避ける等、高温にならないための養生を施して塗装を行ってください。
- 上記「仕上げ塗材」は当社で性能を確認しています。必ず上記をお使いください。

ご注意

仕上げ塗材は、各メーカーの施工要領を守って施工してください。

ご注意

ヒートガン・バーナー等による下地の強制乾燥は避けてください。

3.現場塗装仕上げ手順〈現場塗装タイプ〉

■膜厚を確保できる仕上げパターン

パレットHG・パレットクリームHG

- ・ランダム仕上げ
- ・ウェーブ仕上げ (パラミックス配合)
- ・ウェーブL仕上げ (粗目)
- ・扇L仕上げ
- ・ラフ仕上げ
- ・かき落としM仕上げ
- ・かき落としL仕上げ
- ・木鏝押さえ仕上げ
- ・木鏝仕上げ
- ・スパニッシュL仕上げ
- ・吹上スタッコ仕上げ
- ・吹上スタッコヘッドカット仕上げ
- ・吹上スタッコくし引き仕上げ

ジョリパットアルファ

- ・エンシェントブリック
- ・校倉
- ・ワイルドランダム
- ・ブロックダムR
- ・アールテスタ
- ・モアプレーン
- ・小粒ロック
- ・ミーティア
- ・ゲラーデ
- ・ロック
- ・玉石エンシェントブリック
- ・スタッコ
- ・アンティークストーン

※仕上げ塗材の塗膜の収縮や膜厚不足 (2mm以下) によって下地の影響 (下地の凸凹がそのまま反映されたり、メッシュの網目が見える等) を受けることがありますので、仕上げ材の膜厚については2mm以上を確保してください。当社では膜厚の確保できる仕上げパターンを設定しております。

※指定仕上げパターンでの塗装においても、陽の当たり方等によって下地の影響が浮き出ることがあります。

※施工は必ず各塗材メーカーの指示・注意事項に従って行ってください。

※塗材や各パターンの施工方法・専用道具など詳細については各塗材メーカーにお問い合わせください。

4.現場貼り仕上げ手順〈現場貼付タイプ〉

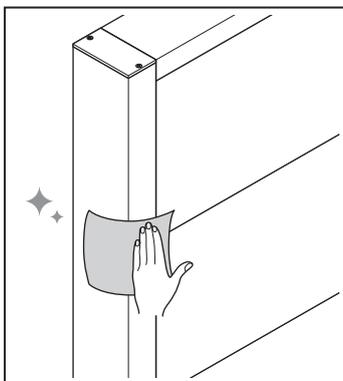
1.タイル・石材・外壁用シート材等の貼付け方法

- ①本体を組み立て後、当社指定の貼り物用接着剤を塗布してください。
下地によくなじませるように塗りつけた後、くし目ごてを用いてしっかりくし目を立ててください。貼り物を所定の時間内に張り付けてください。

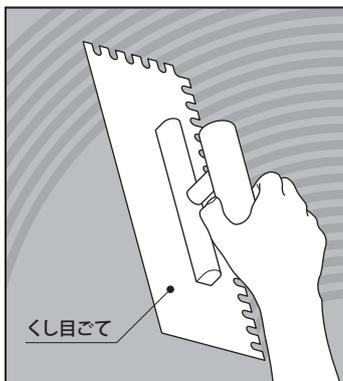
ご注意

- 接着は乾式接着剤張り工法です。接着剤の施工要領書を確認し、使用上の指示に従って、接着剤を塗布してください。
- 石材、タイル等を接着する場合は、接着剤は全面塗布してください。点付け塗布・団子張りは避けてください。
- 接着剤は必ず生地の状態に貼り付けてください。汎用プライマーや仕上げ塗材の上に貼り付けしないでください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット
■接着剤の指定品	
商品名	会社名
タイルエースPRO	セメダイン
EY-21	ニッタイ



- 接着剤は、表面に付着しているゴミ・土砂・油分等を除去してから塗布してください。



- 接着剤の塗布くし目ごてでくし目を立ててください。貼付け物によりくし目の大きさを調整してください。(くし目3・5・7mm)

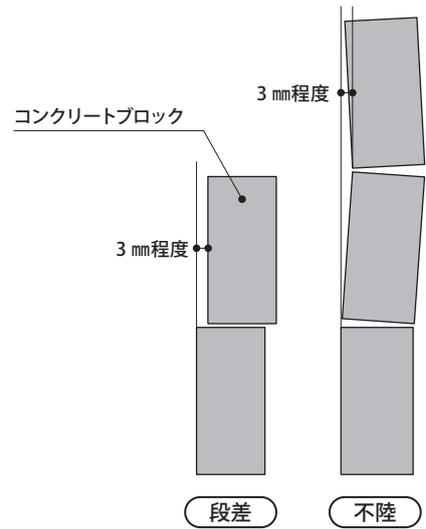
- ※高さにより貼付け物の重量に制限があります。端部柱同梱の本体取説記載の制限荷重に従い、貼り付け作業を行ってください。
- ※石材・タイル・ボード類は、それぞれの商品の取扱説明書等もご確認ください。

5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工

1.アクセントパネル貼付け前の注意事項

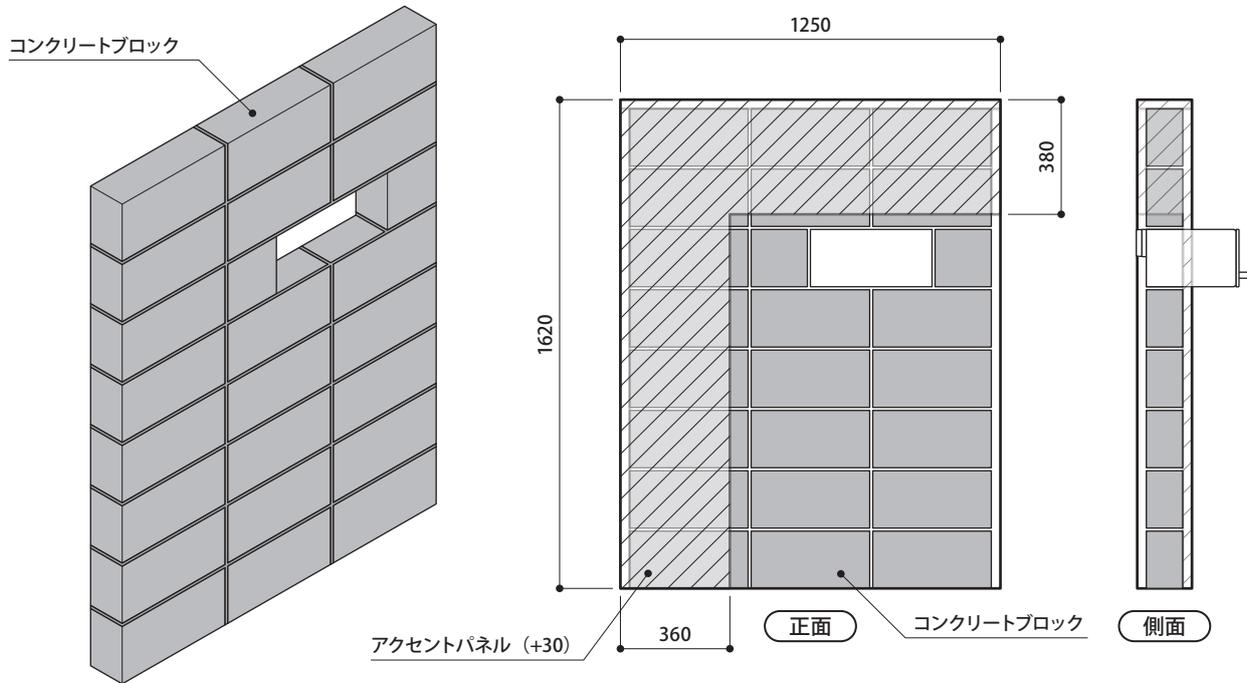
※コンクリートブロックへの貼付けには、アクセントパネル(+30)を使用してください。

- コンクリートブロック面の段差・不陸等は3mm程度までとしてください。
- 施工面は平滑で汚れや油分・ごみの付着物が無いようにしてください。
- 付着しているゴミ・土砂・油分・レタンス・モルタルや骨材等の突起物は、スクレーパー・金属ブラシ・グラインダー等で除去し、ブラシや洗浄機で清掃してください。
- コンクリートブロックがしっかり乾燥してから、アクセントパネルの施工を行ってください。

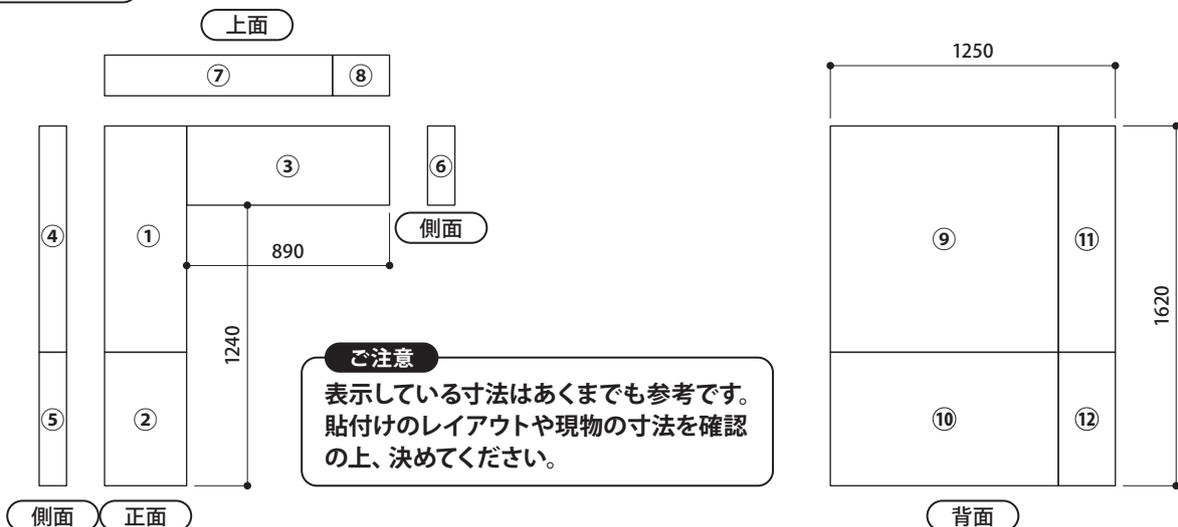


2.アクセントパネルの加工 (参考例)

- 下図はコンクリートブロック3列×8段積みめに、アクセントパネルを取り付ける場合の参考例を表示しています。
- ※参考例をもとに、実際のレイアウトに合わせて調整してください。

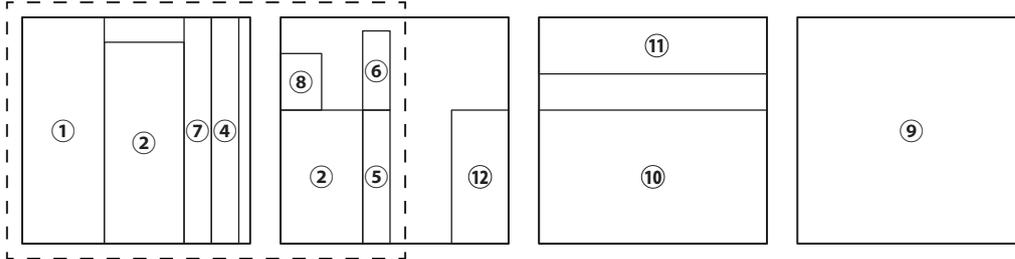


貼付け要領図



5.コンクリートブロックに貼り付ける場合の施工

アクセントパネルのカット要領図



- 上の図はアクセントパネルのカット要領図を表示しています。必要数は4枚です。
[二]は前面・両側面・上面の貼付け部分です。
背面の貼付けが不要ならば必要数は2枚になります。
- カット要領図はあくまでも参考としてください。

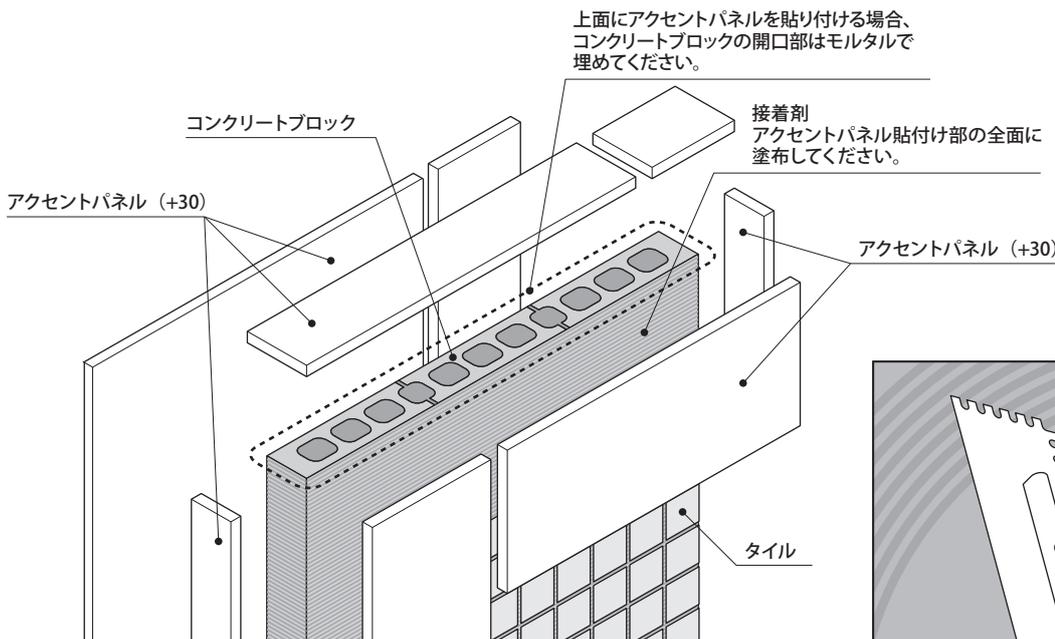
ご注意

ブロックの大きさやタイルの貼付け面積により必要数は変動します。

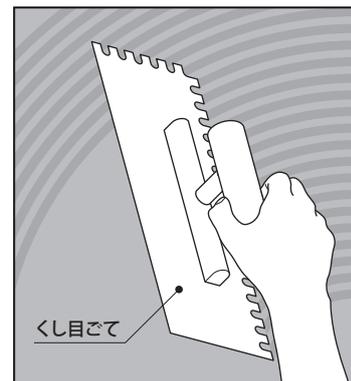
3.カット後のアクセントパネルの貼付け方法

- 接着は乾式接着剤張り工法です。接着剤の施工要領書を確認し、使用上の指示に従って、接着剤を塗布してください。
- 接着剤は下地によくなじませるように塗りつけた後、くし目ごてを用いてしっかりくし目を立ててください。貼り物を所定の時間内に張り付けてください。
- コンクリートブロック面へアクセントパネルを貼り付ける際は、貼付け面の全体に接着剤を塗布してください。

部材名	梱包名称
貼り物用接着剤	貼り物用接着剤セット
■接着剤の推奨品	
商品名	会社名
タイルエースPRO	セメダイン
EY-21	ニッタイ



- アクセントパネルの貼り付け時は十分に圧着し、アクセントパネルの全体が均一に接着されるようにしてください。接着時にパネルがずれる場合などは市販のコンクリートネジ (SUSもしくは高耐腐食性能メッキ品) を購入して仮固定してください。ネジ位置はP.4・5を参照してください。
- アクセントパネの接合部に目地テープを貼り、塗装仕上をする部分に当社規格の汎用プライマーを塗布してください。(P.6・7参照)
コンクリートブロック部に汎用プライマーは必要ありません。
- 汎用プライマー乾燥後、下地調整材・仕上げ塗材を施工してください (P.7参照)



●接着剤の塗布

くし目ごてでくし目を立ててください。コンクリートブロックの面 (不陸状態) の状態に合わせ、くし目の大きさを調整してください。(くし目3・5・7mm)

取扱い店名